

オし 30111301 号
平成 30 年 11 月 13 日

関係事業所長及び施設長 様

特定非営利活動法人オールしずおかベストコミュニティ
専務理事 事務局長 鈴木良夫

農福連携支援事業の御案内

日ごろから、障害福祉の推進に御理解と御協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、オールしずおかベストコミュニティでは、今年度も静岡県より農福連携支援事業を受託いたしました。この事業は、障害福祉サービス事業所で、農業に取り組んでいる所も、これから取り組む計画をお持ちの所も、農業家との連携を目指し、技術や6次化に向けての指導や助言が出来る専門家の派遣・実地指導を受け、スキルを向上させ、更なる農福連携の推進を進めていくものです。

障がいのある人の農業分野での職域を広げることで、工賃向上を期待するとともに、農業の担い手不足の解消につなげます。

つきましては、別紙開催要項をご覧ください、多くの方々に御参加いただきますよう、御案内いたします。

記

【事業概要】

1	集合研修	第1部 農業に取り組むにあたり基礎研修 第2部 農福連携を実際に始めてみて障害者の可能性
2	個別支援	事業レベルにあわせた専門家による個別研修
3	マッチング支援	施設外就労・一般就労を目指す農業家と福祉事業への支援
4	マルシェ開催	生鮮・加工農産物、ジャム・ジュース等の販売会

【対象事業所】

就労継続支援A型、就労継続支援B型

【定員】

30 事業所

【申込方法及び一次期限】

別紙「参加申込用紙」に御記入の上、平成30年11月20日(火)必着でFAX・メールにてお申込み下さい。

【問合せ先】

NPO 法人オールしずおかベストコミュニティ 支援部 大橋

TEL 054-251-3515 FAX 054-251-3516

e-mail k-ohashi@all-shizuoka.or.jp

以上

平成 30 年度 農福連携支援事業開催要項

1. 集合研修			
第 1 部	テーマ 農業に取り組むための基礎	内容	農作物を自ら生産し商品として販売する為に、まず考えなければいけない事は、土づくりの基本です。土と作物との相性など事例等も紹介しながら基本事項を学びます。
講師	公益財団法人 農業環境健康研究所 教材開発チーフ 安本 和正 氏		
第 2 部	テーマ 農家からみる農福連携 障害のある人の可能性	内容	実際に、福祉事業所を施設外で受け入れている農家側の視点から農福連携の可能性や、実際の取組み方等を実例から学びます。
講師	「プロ雅農園」代表 鈴木 雅智 氏		
日時	平成 30 年 11 月 28 日(水) 13:00 ~ 16:30	会場	グランシップ 1002 会議室(10 階)
対象	30 事業所	就労継続支援 A 型・B 型	
2. 個別支援			
対象	18 事業所	就労継続支援 A 型・B 型	
実施場所	自事業所 講師指定場所	回数	1 事業所あたり 3 ~ 4 回
概要	事業所の要望を確認したうえで、適切な人材の派遣等により個別支援を実施します。 (例) ・農地に適した農作物の知識と作付面積の増やし方 ・障害のある人の農作業方法 ・6 次化へ向けて商品の開発、販路、付加価値の付け方		
3. マッチング支援			
対象	10 事業所	就労継続支援 A 型・B 型	
概要	農業家と福祉側の今後の継続的、発展的な就労に繋がるよう、双方の意見・希望等調整をおこい、施設外就労等の機会を創出します。		
4. マルシェ開催			
日時	平成 31 年 1 月 19 日(土) 10:05 ~ 15:00	会場	青葉公園緑地 (静岡市葵区)
概要	・静岡県で作られた、農作物・加工品などの 6 次化商品の展示と販売 ・しずおか農産加工授産品ブランド化推進事業対象製品の販売		

平成 30 年度農福連携支援事業参加申込書

NPO 法人オールしずおかベストコミュニティ 行

FAX:054-251-3516

E-mail: seminar@all-shizuoka.or.jp

法人名		
事業所名		
参加者名		
参加者名		
事業所住所	〒	
TEL / FAX		
メールアドレス		

■研修の参考にします、下記アンケートにお答えください

1 現在の課題	
2 研修で学びたいこと	
3 個別支援で学んでいきたい事	
4 その他 御意見御要望	